



電動荷台昇降キット

2011 年度以降の Workman® MDE 作業車用

モデル番号07382-シリアル番号 311000001 以上

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	-	マシンの準備を行います。
2	昇降ブラケット, 上 十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches) フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ) 昇降シリンダ・サポート 昇降アクチュエータ Uボルト フランジ・ロックナット (Nylock) (3/8 インチ) キャリッジ・ボルト (3/8 x 3/4 インチ) クレビス・ピン コッター・ピン	1 4 4 1 1 2 6 2 1 1	荷台昇降部を取付けます。
3	ソレノイド ボルト (#10 x 3/4 インチ) ナット (#10) アクセサリ用ハーネス スイッチ クレビス・ピン, 大 コッター・ピン	1 2 2 1 1 1 1	スイッチを取り付けます

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

警告

始動キーをつけたままにしておくと、誰でもいつでも車両を始動させることができ、危険である。

整備・調整作業の前には必ず始動キーを抜いておくこと。

- 荷台の右側または左側でレバーを引き上げ、荷台を持ち上げる (図 1)

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

- 平らな場所に駐車する。駐車ブレーキを掛け、キーをOFFにして抜き取る。

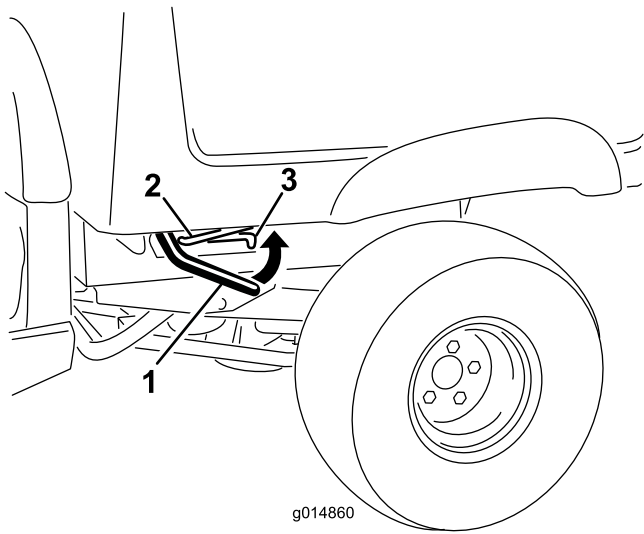


図 1

1. レバー
2. プロップ・ロッド
3. ロック位置(スロット)

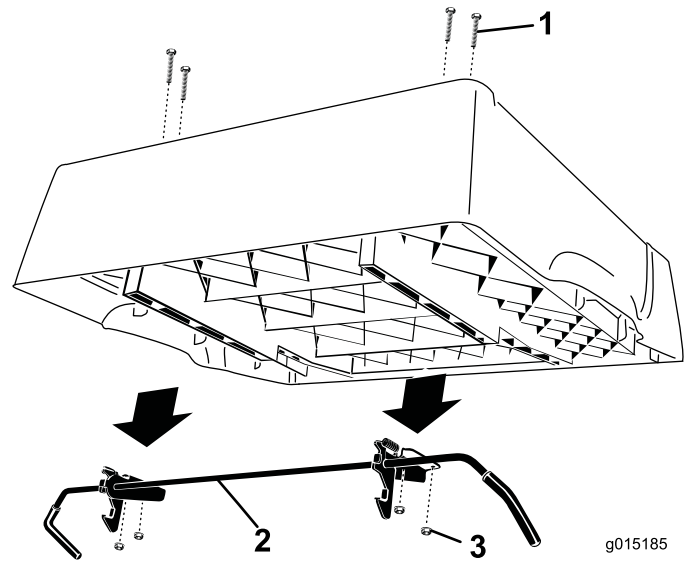


図 3

1. キャリッジ・ボルト: 荷台に残す
2. ラッチ・ロッド
3. フランジ・ナット

3. プロップ・ロッドを固定スロットにはめ込んで荷台を固定する (図 1)。

▲ 警告

上昇させた荷台が万一落下すると、荷台の下にいる人に非常に危険である。

- ・ 荷台の下で作業する時は、必ず支持棒で荷台を支えておく。
- ・ 荷台の下で作業するときは荷台を空にし、必ず安全サポートで固定する。

4. バッテリー同士を接続している短いケーブルのうちの 1 本を外して車両への電源供給を遮断する (図 2)。

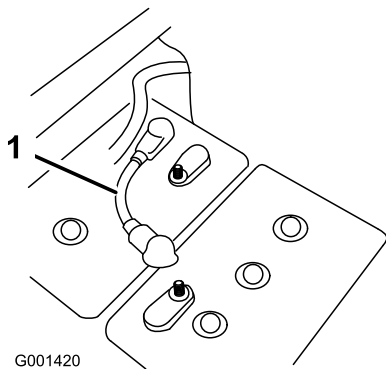


図 2

1. 短いバッテリー・ケーブル

5. ラッチ・ロッド・ブラケットを荷台の裏側に固定しているフランジ・ナット (4本) を外す (図 3)。ロッドとラッチは捨てないこと。各キャリッジ・ボルトはそのまま穴に残し、フランジ・ナットで荷台に再固定する。

2

荷台昇降部を取付ける

この作業に必要なパーツ

1	昇降ブラケット, 上
4	十字平頭ねじ (3/8 x 2-1/2 inches)
4	フランジ・ロックナット (Whiz lock) (3/8 インチ)
1	昇降シリンダ・サポート
1	昇降アクチュエータ
2	Uボルト
6	フランジ・ロックナット (Nylock) (3/8 インチ)
2	キャリッジ・ボルト (3/8 x 3/4 インチ)
1	クレビス・ピン
1	コッター・ピン

手順

1. 荷台の右側の裏側にあるボス (4ヶ所) を探し出す (図 4)。3/8 インチのドリル・ビットを使って、ボスから荷台表面まで、4つの貫通口を注意深く開ける。

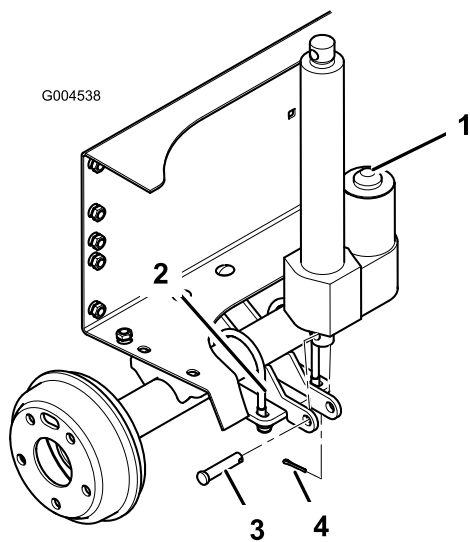


図 6

- | | |
|----------------|------------|
| 1. アクチュエータ | 3. クレビス・ピン |
| 2. 昇降シリンダ・サポート | 4. コッター・ピン |

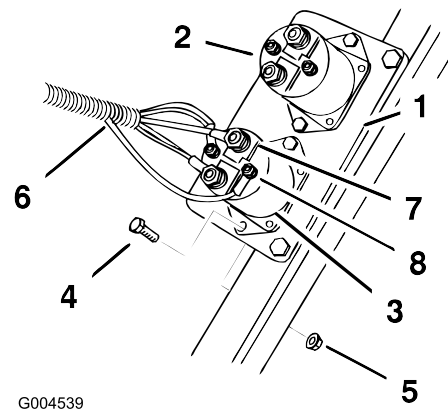


図 7

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. ソレノイド・プレート | 5. ナット(#10) |
| 2. ソレノイド(既存のもの) | 6. アクセサリ用ハーネス |
| 3. ソレノイド(新しいもの) | 7. 大きいポート |
| 4. ボルト(#10 x 3/4 インチ) | 8. 小さいポート |

- アクセサリ用ハーネスをソレノイドに接続する。大きいリングはそれぞれ大きいポストに接続する。小さいリングはそれぞれ小さいポストに接続する。既存の締結具を使って電線を固定する。
- メインのハーネスについているオプション用の 48 V コネクタを探し出して、付いているキャップを外す。この 48 V 出力用コ

3

スイッチを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ソレノイド
2	ボルト(#10 x 3/4 インチ)
2	ナット(#10)
1	アクセサリ用ハーネス
1	スイッチ
1	クレビス・ピン, 大
1	コッター・ピン

手順

- メイン・ハーネスとソレノイド・プレートに作業ができるように、フードを外す。
- 既存のプレートに、ソレノイドを取り付ける；ボルト(#10 x 3/4 インチ) 2本とナット(#10) を使って 図 7 のように取り付ける。

ネクタに、アクセサリ用ハーネスを 図 8 のように接続する。

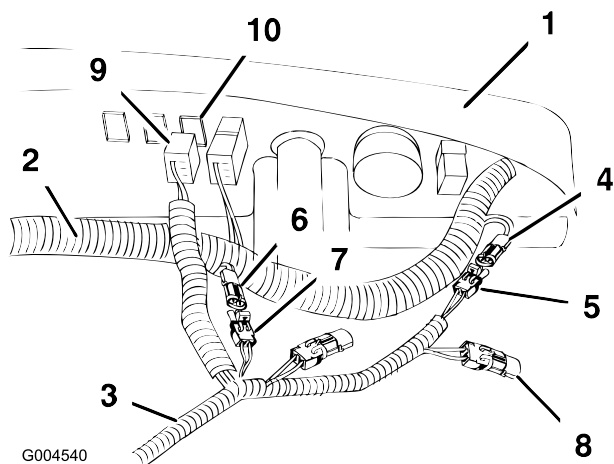


図 8

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. ダッシュボード, 裏側 | 6. 荷台昇降キットのネクタ (メインハーネスから) |
| 2. メイン・ハーネス | 7. 荷台昇降キットのネクタ (アクセサリ用ハーネスから) |
| 3. アクセサリ用ハーネス | 8. 48 V コネクタの延長部 (アクセサリ用ハーネスからのキャップ) |
| 4. 48 V コネクタ (メインハーネスから) | 9. スイッチ用ネクタ |
| 5. 48 V コネクタ (アクセサリ用ハーネスから) | 10. ダッシュボード上のプラグ |

9. ダッシュボードのアクセサリ用ネクタにスイッチをはめ込む。スイッチをダッシュボードにはめこむ (図 9)。

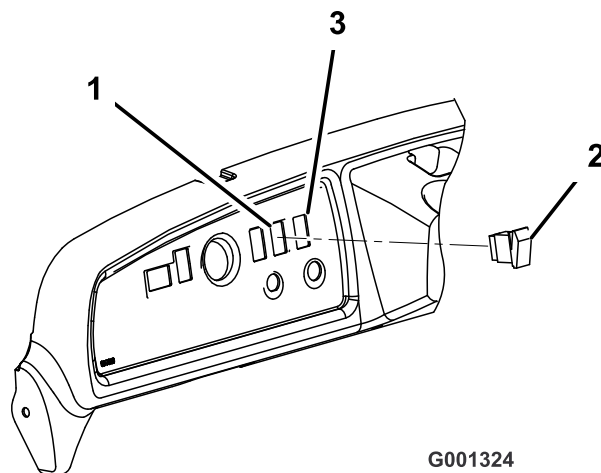


図 9

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. プラグでふさがれている穴 | 3. 新しい穴を作る (必要なら) |
| 2. スイッチ | |

警告

バッテリー・ケーブルの接続がゆるかったり間違っていたりすると、ケーブルが傷ついてショートを起こして火花が発生する。それによって水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーを接続する時は、必ず極性 (プラスとマイナス) を確認する。

5. メイン・ハーネスについている、荷台昇降用のネクタを探し出して、付いているキャップを外す。メイン・ハーネスから来ている荷台昇降用のネクタのワイヤに、アクセサリ用ハーネスを接続する。
6. アクセサリ用ハーネスの48 V 出力ネクタにキャップをはめる。
7. スイッチ用のネクタを、図 8 のようにダッシュボードのプラグの裏の位置におく。
8. ダッシュボードの右側についている打ち抜きプラグを打ち抜いて外す (図 9)。

10. ダッシュボードのハーネス用ネクタにスイッチをはめ込む。スイッチをダッシュボードにはめこむ (図 9)。
11. 先に外した、バッテリー相互接続用の短いケーブルを元通りに接続する。バッテリー・ケーブル全部を 120-180 inch-lb (13.5-21 Nm=1.4-2.0 kg.m) にトルク締めする。
12. 各バッテリーの端子にToro バッテリー端子保護剤を塗布する。
13. スイッチを上押しして、アクチュエータ・ロッドを上側昇降ブラケットの取り付け穴に整列させる。ロッドをブラケットに固定する; 大きいクレビス・ピンとコッター・ピンを使用する。
14. プロップ・ロッド (支え棒) を荷台の裏側に固定しているナットとブラケットを外す。ブラケット取り外し後、ナットは再びキャ

リッジ・ボルトに取り付けて、キャリッジ・ボルトで穴をふさぐ。

15. 支持棒を前にずらすと、フレームのブラケットから支持棒が外れる。支持棒は将来に備えて保管する。

注 将来、電動昇降装置を外した場合には、既存の締結具とプロップ・ロッド・ブラケットを使って支持棒を取り付けてください。

運転操作

重要 ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

荷台を上昇させる

▲ 警告

荷台を上昇させたままで走行すると転倒の危険が増大する。荷台を上昇させたままで車両の運転を長時間続けると、荷台が破損する可能性がある。

- ・ 運転する時は必ず荷台を下げておくこと。
- ・ ダンプ操作をした後は必ず荷台を下げる習慣をつけること。

1. キーを ON 位置に回す。
2. スイッチ上部を押すと荷台が上昇する。

荷台を降下させる

▲ 注意

荷台は相当の重さになる。万一手などを挟まれると大けがをする。

荷台を降ろすときには、荷台に手やその他の部分を近づけないよう十分注意すること。

スイッチ下部を押すと荷台が降下する。

重要 ラチェット音（カチカチ）が聞こえたら、荷台は完全に上昇（下降）しています。それ以上スイッチを押し続けしないでください。

注 荷台が完全に降下した後、およびアクチュエータのクラッチが入る前には、荷台がごくわずかに変形する場合があります。ラチェット音が聞こえたら、スイッチから手をはなしてください。

メモ:



Count on it.